

令和8年度 第2回 水沢農業高等学校 学校運営協議会 議事録

- 1 日 時 令和8年10月14日(水) 13:30～15:00
- 2 会 場 水沢農業高等学校 環境工学棟
- 3 出席者 12名(欠席者2名:高橋辰幸委員、梅田浩司委員)
- 4 議 事

(1) 開会

定刻どおり13時30分に開会。

(2) 校長挨拶と近況報告

本日は御多用のところ御参集いただき、誠にありがとうございます。また、日頃より本校の教育活動に対し、御理解と御支援を賜り、深く感謝申し上げます。新年度から半年が経過し、生徒たちは落ち着いた学校生活を送り、3年生はそれぞれの進路実現に向けて努力を重ねております。また、本校PTAは、生徒を交えたP・T・Sによる活動や高い参加率など、長年の取組が評価され、「優良PTA文部科学大臣表彰」を受賞いたしました。本日は学校取組報告と生徒との意見交換を通して、今後の学校運営への御意見を頂戴できれば幸いです。また、今年度の教員の不祥事と本校における防止対策について、毎月のコンプライアンススピーチや研修会を計画的に実施しているところです。ご意見等あればよろしくお願いいたします。

意見

千葉正睦委員：不祥事防止対策の冊子の表紙に「目」を入れると効果的であると実証されています。試してはどうでしょうか。

校長：ぜひ取り入れたいと思います。

(3) グループディスカッション

テーマ：水農アップデート計画～残すもの・変えるもの・始めるもの～

目 的：水沢農業高校をもっと魅力ある学校にするために、今の活動を振り返りながら、続けたいこと、見直したいこと、新しく挑戦したいことを考える。



副校長から主旨説明。水農会(本校の農業クラブと生徒会を合体した独自組織)の新役員のリリーダー研修会の位置づけとして、本研修を企画した。委員の皆様のお力を貸していただきたい。グループディスカッションの進め方について説明。水沢農業高校の①魅力②残したい魅力や事業③変えたいもの④新たにはじめたいものについて、水農会役員があらかじめ

準備してきた付箋を説明しながら、シートに貼っていく。委員の皆様には適宜ご助言をいただきながら、グループの意見を完成させていく。最後にグループの意見を共有する。生徒主導で進行、記録、発表を行うこととする。

（４）グループ発表（３分×３グループ＝９分）と共有

グループ A

生徒：伊藤陸さん（１年）、八重樫花さん（１年）、高橋莉桜さん（２年）

委員：小宮山委員、千葉祐悦委員、大畑委員

A グループでは、SNS を使った魅力発信や実習など、他校にはない学習方法が僕たちの魅力だと出ました。地域の人との交流や SDGs 活動は大切に残したいです。古い設備は生徒だけでは変えられないけれど、『自分たちでできる学校のアピール』なら増やせるよねと話し合いました。そこで新しく、YouTube のショート動画発信などを増やして、学校の魅力をどんどん広めていきたいです！



グループ B

生徒：及川七海さん（１年）、菊池雪乃さん（１年）、千葉華暖さん（２年）

委員：後藤委員、菅原文江委員、菅原幸雄委員

B グループは、外部との盛んな交流や、生徒・先生・学校全体の雰囲気の良さが魅力だと話しました。この伝統や良い雰囲気、交流はこれからも残したいです。変えたいのは古い設備と、『普段意見を言いにくい人の声も届くような仕組み』を作ることです。新しく始めることとして、SNS を使った情報発信や、もっと幅広い交流を進めていきたいです！



グループ C

生徒：昆野奏夢さん（１年）、佐藤詩恵さん（２年）、藤井瑞希さん（２年）

委員：千葉正睦委員、岩渕委員、柳原委員

僕たちのグループでは、SDGs 活動や学校行事を通じた地域交流が魅力だと話し合いました。



た。これからも農業や行事での地域の方々との繋がりをしっかり残していきたいです。変えたいところは学校の古い設備で、特に寮のトイレが気になります。新しく始めることとしては、宇宙食や非常食といった新分野の取り組みや、もち米の栽培・餅まきをやってみたいという意見が出ました！

（５） 生徒の振り返り・感想

伊藤陸さん：初めての参加で少し緊張したものの、話し合いや議論の雰囲気を経験できました。

昆野奏夢さん：自分以外の人の考えを聞くことで、違う視点やとても参考になる意見がたくさん聞けて良かったです。

千葉華暖さん：自分では思いつかないような意見やアドバイスをもらい、学校の魅力や未来について深く考えることができました。とても楽しく良い話し合いになりました。



（６） 委員・校長先生の講評

後藤委員

生徒たちの考え方の深さや、少人数ならではの温かい関係性、伝統を大切にする姿勢を高く評価しています。特に「意見を出せない人の声を拾い上げる仕組みづくり」など、大人側も気づかされる素晴らしい視点に感銘を受けました。学校の魅力を外へ届けて興味を持ってもらう仕組みを、共に考えていきたいと思います。

千葉正睦委員

生徒一人ひとりが自分の思いをしっかりと言語化できている点が素晴らしいと思います。アイデアで終わらせず実現していくための「仕組みづくり」や、生徒自身が「問い」を持ち続けることが大切だと思います。設備の課題に対しては、クラウドファンディング等を活用した「学校への特別寄付」を考えてはどうでしょうか？

校長先生（総括）

生徒が真剣に学校の未来を考え、大人から適切な指導言を得られたことに感謝申し上げます。この話し合いを一度きりで終わらせず、生徒総会などの場に繋がられるよう「校内での

議論の延長戦」を行い、提案を具体的な形にしていってほしいと思います。本日は貴重な時間をありがとうございました。

(7) 諸連絡

今後の予定・連絡事項について。10月31日(土)の水農祭では後藤屋さんが本校のコラボ商品の出張販売や、農業大学校の紹介ブースの設置を実施します。また第3回 運営委員会:は2月中旬頃の開催を予定しております。

(8) 閉会 15時00分に閉会。



新水農会、頑張ります！